

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率 月次指標の早期推計：8月レポート

野村亮輔（副主任研究員）
稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: contact@apir.or.jp

ポイント

●9月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表4)、8月の訪日外客総数(推計値)は342万8,000人であった。前年同月比+16.9%と増加幅は前月(同+4.4%)から拡大し、伸びは3カ月ぶりに2桁台に回復した。アジアや欧米豪地域においてスクールホリデーが重なった影響が表れた。また、同月の出国日本人数は164万8,300人であった(同+14.7%)。なお、2019年同月比では-21.9%と、減少幅は前月(同-27.3%)から縮小した。

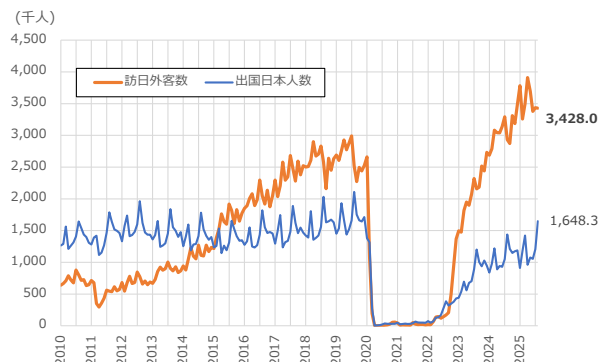
▶訪日外客数のトップ5を国・地域別にみると(図2及び表4)、8月は中国が101万8,600人(前年同月比+36.5%)と最多であった。次いで韓国が66万900人(同+8.0%)、台湾が62万700人(同+10.0%)、香港が22万6,100人(同-8.3%)、米国が19万4,500人(同+11.7%)と続く。SNS等による誤情報の影響から、香港は4カ月連続の減少。しかし減少幅は前月(同-36.9%)から縮小した。

▶目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば(図3及び表5)、6月は337万7,985人(前年同月比+7.6%)。うち、観光客は311万559人(同+6.8%)となり、6月として過去最高値を更新した。その他客は15万9,289人(同+28.0%)、商用客は10万8,137人(同+5.5%)であった。

▶大阪・関西万博が10月13日に閉幕した。累計一般来場者数は2,557万8,986人と、想定来場者数2,820万人を幾分下回ったが、2005年の愛・地球博の来場者数(2,205万人)は上回った。万博閉幕後、関西への観光を促進する取組が開始されている。今回は一事例として、JR西日本が実施するキャンペーンを取り上げ、その特徴をみよう。

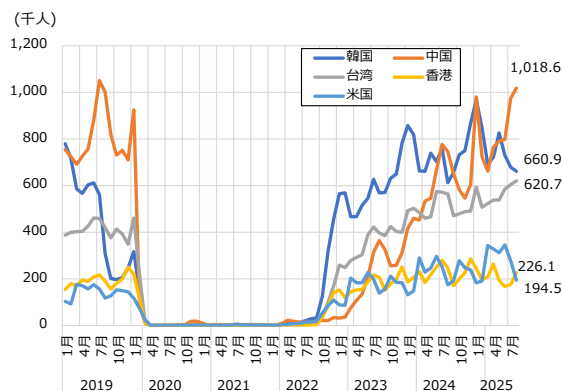
▶JR西日本では、10月15日から万博後も国内外の客を西日本エリアへの誘客を促進するため、「動け、好奇心。」キャンペーンを実施した。本キャンペーンは、約70の企業・団体と連携し、グルメや地場産業の体験などコト消費に合わせた旅行商品やイベントを順次展開する予定である。具体的な内容としては、1)大阪府から関西各府県へ出発し、冬の味覚や当地の味覚を体験できるツアーや、2)訪日客向けのプランとして、福井県の伝統工芸体験ツアーや広島県の宮島などを巡るツアーなどの提供である。本キャンペーンの特徴は、国内外の旅行者を対象とし、関西のみならず中国地方、九州地方など西日本全体を周遊させるものとなっていることである。こうした「西のゴールデンルート」を活用した取組を推進することで、広域観光が促進され、より一層地域へ効果が均霑されることにつながろう。

図1 訪日外客数及び出国日本人数の推移



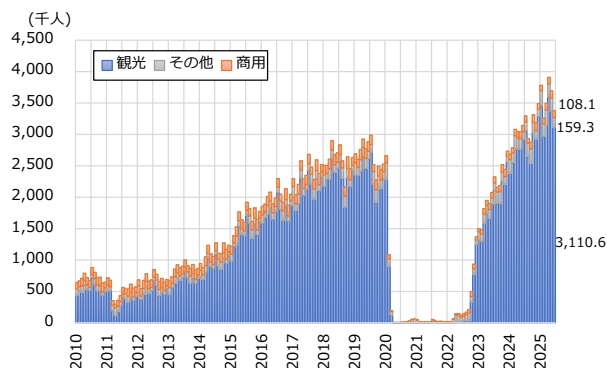
注：2023年まで確定値、24年、25年4月は暫定値、25年5-6月は推計値
出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」より筆者作成

図2 上位5カ国・地域別訪日外客数の推移



注：なお、TOP5の国・地域は値を表示している。
出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」より筆者作成。

図3 目的別訪日外客数推移



注：目的別訪日外客数については訪日外客数(推計値)から2カ月遅れて発表される。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」より筆者作成

*なお、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の訪問率のデータが2023年9月から公表が再開された。このため、中断していた訪問率の月次推計についてはデータの蓄積を待つ今後再開する予定である。

トピックス 1

● 8月関西の財貨・サービス貿易及びサービス産業動向

▶ 関西 8 月の輸出額は前年同月比+0.7%と 11 カ月連続の増加だが、増加幅は前月と同程度(同+1.3%)の小幅にとどまった。一方、輸入額は同-8.9%と 2 カ月連続で減少した(前月:同-6.4%)。このため、**関西の貿易収支は+3,081 億円と 7 カ月連続の黒字となり、黒字幅は同+101.3%と 2 カ月連続で大幅拡大した**(前月:同+128.1%)(図 4)。

▶ 対中貿易動向をみると(図 5)、**関西 8 月の対中国輸出**は前年同月比-0.2%と 2 カ月ぶりに小幅減少した(前月:同+0.1%)。輸出減に寄与したのは半導体等製造装置、通信機等であった。一方、**対中国輸入**は同+0.8%と 3 カ月ぶりの増加(前月:同-2.7%)。輸入増に寄与したのは事務用機器、がん具及び遊戯用具等であった。

▶ **8 月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は 91 万 7,658 人であった**。前年同月比+20.3%と増加幅は前月(同+7.6%)から拡大し、3 カ月ぶりに 2 桁の伸びとなった。結果、2019 年 6 月以来、**成田空港の外国人入国者数を上回った**。なお、同月の日本人出国者数は 32 万 5,350 人であった(図 6)。同+17.9%と増加幅は前月(同+17.5%)とほぼ同程度であった。なお、2019 年同月比では-21.7%と減少幅は前月(同-28.7%)から縮小したが、**アウトバウンド需要の回復は緩慢**である。

▶ サービス業の生産活動を示す**第 3 次産業活動指数**(季節調整済み:2019-20 年平均=100)をみれば(図 7)、8 月は 104.3 で前月比-0.4%と 2 カ月ぶりのマイナスとなった(前月:同+0.2%)。経済産業省は基調判断を「一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動き」と前月から据え置いた。また、同月の**対面型サービス業指数***は 105.2 で同+0.0%と、小幅ながら 3 カ月ぶりのプラス(前月:同-0.4%)。うち、宿泊業、飲食サービス業(同+4.3%、3 カ月ぶり)や医療、福祉(同+0.4%、4 カ月ぶり)等が上昇に寄与した。**7-8 月平均を 4-6 月平均と比較すると、第 3 次産業活動指数は横ばい(4-6 月期:前期比+0.4%)、対面型サービス業指数は-0.3%(4-6 月期:同-0.5%)低下した**。

▶ 8 月の**観光関連指数****(季節調整済み:2019-20 年平均=100)は(図 7)、114.9 と前月比+4.3%上昇し、3 カ月ぶりのプラス(前月:同-2.9%)。うち、宿泊業、飲食サービス業や劇場・興行団(同+10.1%、3 カ月ぶり)等が上昇に寄与した。7-8 月平均の観光関連指数は 4-6 月平均比-0.3%低下した(4-6 月期:前期比-1.1%)。

*対面型サービス業は、「運輸業、郵便業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「学習支援業」及び「医療、福祉」を指す。

**観光関連指数は第 3 次産業活動指数のうち、「旅客運送業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「旅行業」、「映画館」、「劇場・興行団」及び「公園、遊園地・テーマパーク」の各指数の加重平均。

図 4 関西 対世界貿易の推移

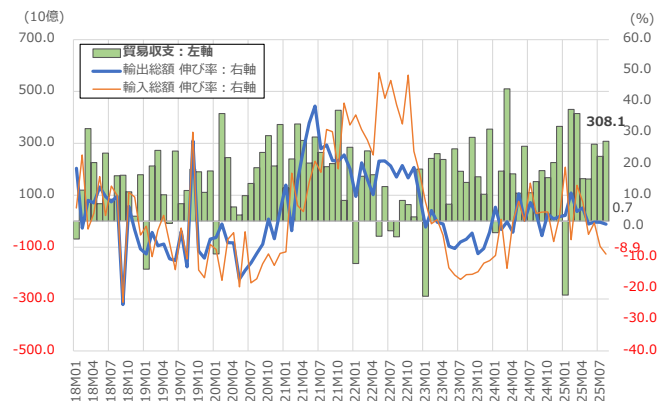
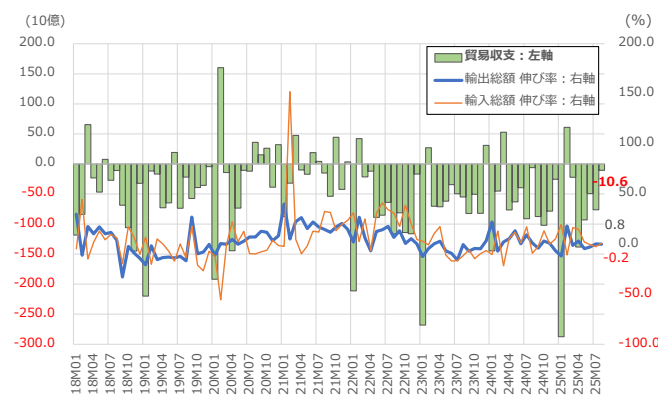
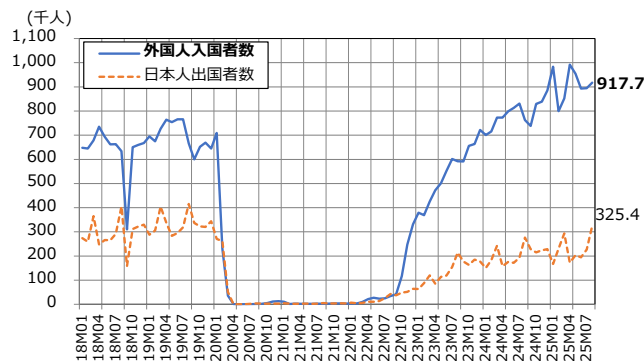


図 5 関西 対中貿易の推移



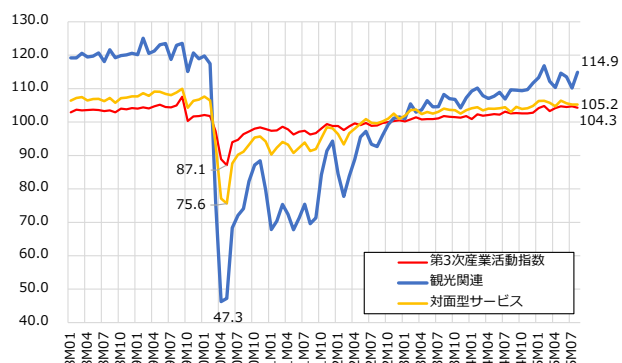
出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図 6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2025 年 8 月値は速報値

図 7 観光関連 対面型サービス 第 3 次産業:2019-20 年平均=100



出所:経済産業省「第 3 次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

● 6月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶観光庁によれば、6月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は**10,807.1千人泊**(表1)。前年同月比**+0.3%**と2021年11月以降増加が続いているが、**増加幅は前月(同+5.0%)から縮小した**。

▶日本人延べ宿泊者数は**6,881.9千人泊**となった。前年同月比**+0.4%**と小幅ながら**2カ月連続で増加**した(前月：同+1.1%)(表1及び図8)。結果、**4-6月期**は前年同期比**-1.4%**と**2四半期連続で減少**した。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府2,613.1千人泊、京都府1,231.1千人泊、兵庫県1,053.5千人泊、三重県571.8千人泊、和歌山県310.6千人泊、滋賀県300.5千人泊、福井県259.8千人泊、奈良県207.1千人泊、鳥取県172.2千人泊、徳島県162.3千人泊であった。関西6月の前年同月比(+1.1%)に対する寄与度をみれば、**大阪府(同+3.1%ポイント)**、**三重県(同+0.6%ポイント)**や**奈良県(同+0.4%ポイント)**等、5府県が増加に寄与した。一方、減少に寄与したのは、**京都府(同-2.6%ポイント)**、**滋賀県(同-0.7%ポイント)**、**福井県(同-0.6%ポイント)**等、5府県であった。なお、京都府は2023年6月以降、前年割れが続いている。

▶外国人延べ宿泊者数は**3,925.2千人泊**であった(表1及び図9)。前年同月比**+0.2%**と**39カ月連続のプラス**だが、**増加幅は前月(同+12.6%)から大幅縮小**し、2022年2月(同+0.9%)以来の低い伸びにとどまった。結果、**4-6月期**は前年同期比**+11.7%**と**13四半期連続で増加**した。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府2,021.9千人泊、京都府1,556.2千人泊、兵庫県141.4千人泊、和歌山県67.3千人泊、奈良県45.7千人泊、三重県32.2千人泊、滋賀県20.3千人泊、徳島県16.0千人泊、鳥取県15.9千人泊、福井県8.2千人泊であった。前年同月比(+0.2%)への寄与度をみれば、**京都府(同+4.2%ポイント)**、**兵庫県(同+0.8%ポイント)**、**奈良県(同+0.5%ポイント)**等、**8府県が外国人延べ宿泊者の増加に寄与**した。

▶なお、宿泊料金と賃金との交易条件(現金給与総額/宿泊料金：2019年=100)をみれば、2025年8月は**58.9**となった。前年同月比**-3.4%**と**29カ月連続で悪化**し、前月(同-2.4%)から悪化幅は拡大した。依然として日本人宿泊者にとっては厳しい状況が続いている(図10)。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

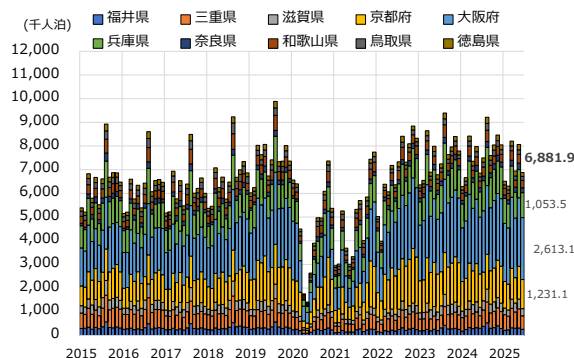


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

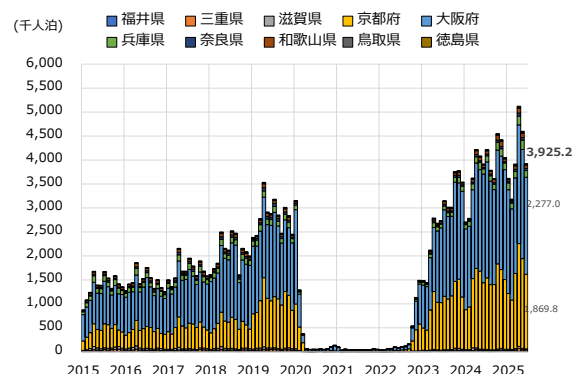


図10 宿泊料金と賃金の交易条件
(現金給与総額/宿泊料金)



注：宿泊料金(消費者物価)と賃金(現金給与総額)の相対的関係をみている。
2019年平均を100。

出所：総務省統計局『消費者物価指数』及び厚生労働省『毎月勤労統計調査』

表1 関西 延べ宿泊者数伸び率：6月

2025年6月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数： (千人泊)	前年比伸び率： 当月(%)	前年比伸び率： 前月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	前年比伸び率： 当月(%)	前年比伸び率： 前月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	前年比伸び率： 当月(%)	前年比伸び率： 前月(%)
福井県	268.0	-13.2	-3.4	259.8	-14.1	-2.9	8.2	29.9	-17.0
三重県	604.0	9.5	22.1	571.8	7.4	20.9	32.2	69.2	61.8
滋賀県	320.9	-15.4	-1.7	300.5	-14.6	-3.3	20.3	-25.8	30.8
京都府	2,787.3	-0.5	0.5	1,231.1	-12.7	-14.1	1,556.2	11.9	14.9
大阪府	4,635.0	-0.6	6.8	2,613.1	8.9	6.2	2,021.9	-10.6	7.6
兵庫県	1,194.9	1.5	4.3	1,053.5	-1.2	0.8	141.4	27.0	31.5
奈良県	252.8	23.1	15.7	207.1	16.5	11.4	45.7	65.3	45.1
和歌山県	377.9	11.0	6.1	310.6	8.3	4.3	67.3	24.8	14.0
鳥取県	188.1	3.8	-6.6	172.2	0.0	-13.1	15.9	75.7	160.7
徳島県	178.3	5.5	3.0	162.3	2.6	1.2	16.0	48.1	28.4
関西2府4県	9,568.7	0.0	4.4	5,715.9	0.4	-0.3	3,852.9	-0.5	12.0
関西2府8県	10,807.1	0.3	5.0	6,881.9	0.4	1.1	3,925.2	0.2	12.6
全国	49,445.8	-2.4	2.3	35,325.8	-5.1	-2.4	14,120.0	5.3	16.7

注：表中の赤枠は寄与度が高いTOP3を示している。

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」(図8～9及び表1)より筆者作成

トピックス 3

● 2025 年 4-6 月期訪日外国人訪問率と消費単価：関西

▶観光庁によれば、**2025 年 4-6 月期における関西各府県の訪問率**をみると(図 11)、**大阪府 44.6%が最も高く**、次いで京都府 32.7%、奈良県 10.7%、兵庫県 5.5%、和歌山県 1.4%、三重県 0.8%、滋賀県 0.5%、鳥取県 0.3%、福井県 0.2%、徳島県 0.2%と続く。前年同期と比較すると(表 2)、大阪府+3.5%ポイント、奈良県+2.0%ポイント、京都府+1.8%ポイント、兵庫県+0.1%ポイント、福井県、三重県、滋賀県、鳥取県+0.0%ポイントと、それぞれ上昇した。一方、徳島県-0.1%ポイント、和歌山県-0.0%ポイントといずれも小幅低下となった。**管区別に訪問率をみると**、北海道、中部、九州が小幅の伸びにとどまっているのに対して、**近畿は同+3.1%ポイントと大幅上昇**している。また、関東は同-1.0%ポイントと低下している。なお、近畿については、**4-6 月期(47.6%)は過去 2 年間(23 年 4-6 月期～25 年 1-3 月期)の平均値(42.5%)を+5.1%ポイント上回っており、大阪・関西万博の影響がうかがわれる。**

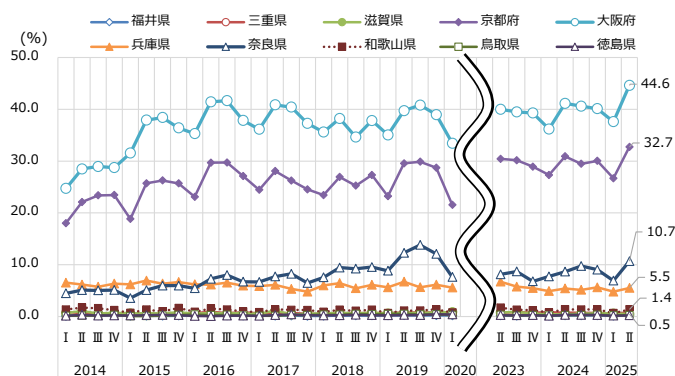
▶当該期間の各府県の訪問率に訪日外客数を乗じて推計した関西における訪日外客数をみよう。**2025 年 4-6 月期の訪問者数**を降順にみれば(表 2)、**大阪府 489 万 9,446 人(前年同期比+29.1%)と最も多く**、次いで京都府 359 万 5,147 人(同+26.1%)、奈良県 117 万 2,871 人(同+47.0%)、兵庫県 60 万 5,662 人(同+21.3%)、和歌山県 14 万 9,217 人(同+16.8%)、三重県 8 万 5,617 人(同+22.6%)、滋賀県 5 万 61 人(同+32.5%)、鳥取県 2 万 9,209 人(同+21.3%)、福井県 2 万 4,772 人(同+47.0%)、徳島県 2 万 3,169 人(同-18.7%)と続く。

▶観光庁によれば、**2025 年 4-6 月期の関西における訪日外国人消費単価**(旅行者 1 人 1 回当たりの旅行消費金額)をみると(表 3)、**関西 2 府 4 県では前年同期比+4.0%増加した**。費目別にみれば、買物代(同-16.4%)が減少する一方で、娯楽等サービス費(同+20.1%)、宿泊代(同+19.7%)が大幅増加した。

▶観光庁によれば、**2025 年 4-6 月期の関西における訪日外客消費額は 7,250 億円となり(表 3)、前年同期比+33.7%増加した**(25 年 1-3 月期：同+47.8%)。同期の全国の消費額*は 2 兆 2,826 億円、同+21.2%となり(25 年 1-3 月期：同+28.8%)、**関西は全国の伸びを上回った。**

*全国の消費額については本レポート No.73 を参照。

図 11 訪日外国人訪問率の推移：関西 2 府 8 県



出所：観光庁『インバウンド消費動向調査』より作成。

表 2 訪日外客の訪問率と人数：関西 2 府 8 県

府県ベース				単位：%、人			
府県ベース	24Q2	25Q2	前年差	府県ベース	24Q2	25Q2	前年比伸び率
福井県	0.2	0.2	0.0	福井県	16,852	24,772	47.0
三重県	0.8	0.8	0.0	三重県	69,853	85,617	22.6
滋賀県	0.4	0.5	0.0	滋賀県	37,781	50,061	32.5
京都府	30.9	32.7	1.8	京都府	2,851,166	3,595,147	26.1
大阪府	41.1	44.6	3.5	大阪府	3,795,236	4,899,446	29.1
兵庫県	5.4	5.5	0.1	兵庫県	499,153	605,662	21.3
奈良県	8.6	10.7	2.0	奈良県	797,695	1,172,871	47.0
和歌山県	1.4	1.4	-0.0	和歌山県	127,752	149,217	16.8
鳥取県	0.3	0.3	0.0	鳥取県	24,074	29,209	21.3
徳島県	0.3	0.2	-0.1	徳島県	28,502	23,169	-18.7
運輸局ベース				単位：%、人			
運輸局ベース	24Q2	25Q2	前年比伸び率	運輸局ベース	24Q2	25Q2	前年比伸び率
北海道	4.4	4.5	0.1	北海道	402,072	490,914	22.1
関東	55.4	54.3	-1.0	関東	5,109,278	5,967,319	16.8
中部	11.9	12.0	0.1	中部	1,099,189	1,314,181	19.6
近畿	44.5	47.6	3.1	近畿	4,107,678	5,230,096	27.3
九州	11.9	12.2	0.3	九州	1,098,968	1,342,072	22.1

出所：JNTO『訪日外客統計』及び観光庁『インバウンド消費動向調査』より推計。

表 3 費目別訪日外国人消費単価の比較：関西 2 府 4 県

		費目別 (7区分)						
		消費単価	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他
2024年4-6月期 (万円/人)	滋賀県	4.1	2.5	0.8	0.1	0.1	0.4	0.0
	京都府	5.5	2.2	1.4	0.2	0.2	1.1	0.0
	大阪府	9.8	2.6	2.1	0.2	0.4	4.0	0.0
	兵庫県	3.6	1.1	0.9	0.1	0.1	1.2	0.0
	奈良県	0.9	0.2	0.3	0.0	0.1	0.2	0.0
	和歌山県	4.6	2.3	1.1	0.1	0.1	0.6	0.0
	2府4県	6.9	2.1	1.6	0.2	0.3	2.4	0.0
2025年4-6月期 (万円/人)	滋賀県	4.6	2.2	1.2	0.1	0.1	0.4	0.0
	京都府	6.1	2.7	1.4	0.2	0.2	1.0	0.0
	大阪府	10.0	3.2	1.9	0.2	0.5	3.2	0.0
	兵庫県	4.4	1.4	1.3	0.1	0.1	1.2	0.0
	奈良県	1.0	0.3	0.3	0.0	0.1	0.2	0.0
	和歌山県	3.8	2.2	0.9	0.1	0.2	0.2	0.0
	2府4県	7.2	2.6	1.5	0.2	0.3	2.0	0.0
前年度比 (%)	滋賀県	10.3	-13.5	53.4	96.2	-54.7	11.9	-
	京都府	9.5	20.2	1.5	7.6	-1.1	-6.4	-
	大阪府	2.3	21.5	-5.6	-17.5	29.9	-18.6	-
	兵庫県	22.0	30.9	42.5	62.6	3.8	-1.6	-
	奈良県	9.1	56.5	4.3	-30.3	-13.5	6.9	-
	和歌山県	-17.8	-7.0	-22.9	-8.2	133.9	-58.1	-
	2府4県	4.0	19.7	-2.4	-8.3	20.1	-16.4	-

訪日外客消費額	24年4-6月期 (万円)	25年4-6月期 (万円)	前年同期比 (%)
関西2府4県	54,244,744	72,506,213	33.7
全国	188,321,122	228,266,992	21.2

(注)全目的ベース。2024 年は確報(上図も同様)。消費単価にはパッケージ参加費が含まれる。

出所：観光庁『インバウンド消費動向調査 参考表都道府県別集計』より作成。

表 4 2025 年 8 月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (前年同月比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2024年	2025年	伸率 (%)	2024年	2025年	伸率 (%)
	8月	8月		1月～8月	1月～8月	
総数	2,933,381	3,428,000	16.9	24,008,405	28,383,600	18.2
総数(中国除く)	2,187,371	2,409,400	10.2	19,413,019	21,672,000	11.6
韓国	612,172	660,900	8.0	5,811,962	6,123,100	5.4
中国	746,010	1,018,600	36.5	4,595,386	6,711,600	46.1
台湾	564,360	620,700	10.0	4,115,255	4,509,700	9.6
香港	246,557	226,100	-8.3	1,801,733	1,673,200	-7.1
タイ	34,667	35,500	2.4	706,471	764,600	8.2
シンガポール	24,781	20,500	-17.3	352,923	390,000	10.5
マレーシア	17,174	21,100	22.9	278,231	363,200	30.5
インドネシア	22,127	31,400	41.9	315,520	405,000	28.4
フィリピン	38,971	44,200	13.4	496,204	539,700	8.8
ベトナム	52,430	61,200	16.7	434,061	479,300	10.4
インド	16,113	18,600	15.4	152,947	208,000	36.0
豪州	40,999	41,200	0.5	551,606	658,600	19.4
米国	174,051	194,500	11.7	1,768,204	2,173,000	22.9
カナダ	46,913	51,500	9.8	367,335	439,000	19.5
メキシコ	12,082	13,600	12.6	92,111	118,200	28.3
英国	29,410	36,700	24.8	280,811	344,800	22.8
フランス	31,421	37,200	18.4	253,099	293,100	15.8
ドイツ	24,129	35,700	48.0	204,459	266,600	30.4
イタリア	34,654	41,100	18.6	149,140	198,900	33.4
スペイン	25,906	32,000	23.5	110,528	154,400	39.7
ロシア	6,874	13,000	89.1	53,645	108,000	101.3
北欧地域	6,873	9,100	32.4	96,414	122,600	27.2
中東地域	11,433	18,400	60.9	99,497	154,200	55.0
その他	113,274	145,200	28.2	920,863	1,184,800	28.7

表 5 2025 年 6 月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (前年同月比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2024年	2025年	伸率 (%)	2024年	2025年	伸率 (%)	2024年	2025年	伸率 (%)	2024年	2025年	伸率 (%)
	6月	6月		6月	6月		6月	6月		6月	6月	
総数	3,140,642	3,377,985	7.6	2,913,631	3,110,559	6.8	102,531	108,137	5.5	124,480	159,289	28.0
韓国	703,277	729,860	3.8	676,967	702,542	3.8	15,379	14,890	-3.2	10,931	12,428	13.7
中国	665,617	798,001	19.9	609,272	725,720	19.1	23,528	27,662	17.6	32,817	44,619	36.0
台湾	574,487	585,070	1.8	561,037	570,380	1.7	7,927	8,301	4.7	5,523	6,389	15.7
香港	250,604	166,764	-33.5	247,237	163,285	-34.0	2,048	1,916	-6.4	1,319	1,563	18.5
タイ	54,604	52,059	-4.7	49,972	46,883	-6.2	2,283	2,313	1.3	2,349	2,863	21.9
シンガポール	58,925	68,629	16.5	56,700	66,148	16.7	1,919	2,086	8.7	306	395	29.1
マレーシア	22,042	28,106	27.5	20,125	25,865	28.5	1,318	1,415	7.4	599	826	37.9
インドネシア	43,052	51,462	19.5	34,092	38,646	13.4	1,224	1,237	1.1	7,736	11,579	49.7
フィリピン	65,011	63,203	-2.8	54,397	50,660	-6.9	4,910	5,982	21.8	5,704	6,561	15.0
ベトナム	47,458	52,935	11.5	18,127	16,537	-8.8	2,886	3,044	5.5	26,445	33,354	26.1
インド	19,884	28,623	43.9	12,725	20,770	63.2	4,443	4,811	8.3	2,716	3,042	12.0
豪州	61,817	59,422	-3.9	59,129	56,605	-4.3	2,000	2,055	2.8	688	762	10.8
米国	296,414	345,150	16.4	281,918	331,411	17.6	10,684	9,893	-7.4	3,812	3,846	0.9
カナダ	40,989	41,588	1.5	39,387	39,762	1.0	1,035	1,004	-3.0	567	822	45.0
メキシコ	10,757	13,242	23.1	10,276	12,860	25.1	304	203	-33.2	177	179	1.1
英国	28,828	33,525	16.3	25,005	29,826	19.3	2,718	2,433	-10.5	1,105	1,266	14.6
フランス	23,150	27,105	17.1	19,760	23,561	19.2	2,155	2,042	-5.2	1,235	1,502	21.6
ドイツ	16,603	23,912	44.0	13,186	20,728	57.2	2,752	2,347	-14.7	665	837	25.9
イタリア	14,990	20,126	34.3	13,224	18,171	37.4	1,383	1,418	2.5	383	537	40.2
ロシア	5,616	11,947	112.7	4,619	10,914	136.3	583	584	0.2	414	449	8.5
スペイン	12,907	18,160	40.7	12,108	17,326	43.1	486	467	-3.9	313	367	17.3
中東地域	14,086	17,420	23.7	12,971	16,251	25.3	708	647	-8.6	407	522	28.3
その他	109,524	141,676	29.4	81,397	105,708	29.9	9,858	11,387	15.5	18,269	24,581	34.6

注：目的別訪日外客数の定義については、図 3 注参照。表中の赤枠は過去最高を更新した国及び地域
出所：日本政府観光局(JNTO)、2025 年 9 月 17 日付より筆者加工